

5月の農作業管理

指導販売課

柑橘

秀品みかんは開花期の防除から

作業1 開花期の防除の徹底

近年、2級果・原料柑として出荷されるもののなかに、灰色カビ病の被害果が多くみられます。また、せとみ（ゆめほっぺ）などは種が問題となる品種であり、開花期の訪花昆虫防除が重要となってきます。高品質果実および正果率アップのために、開花期の防除は必ず行いましょう。品種および園地ごとの開花状況を確認しながら適期に防除を行いましょう。

時期	病害虫	防除薬剤
開花2～3分咲 (5月上・中旬頃)	訪花昆虫 灰色カビ病	モスピラン顆粒水溶剤 4,000倍 パレード15フロアブル 3,000倍
満開～落弁期 (5月中・下旬頃)	灰色カビ病 チャノホコリダニ ミカンサビダニ	フロンサイドSC 2,000倍
5月下旬 (発生園又は発生が心配される園)	かいよう病 展着剤	ICボルドー66D 80倍 アピオンE 1,000倍

※ 樹勢回復又は緑化促進のために開花期防除時に尿素500倍とリンクエース2,000倍で混用散布しましょう。

作業2 夏肥の施用

夏肥は、連年安定生産（隔年結果是正）には欠かせない肥料です。また新梢の充実や、果実の肥大促進のためにも重要な肥料です。必ず施用しましょう。また、冬の寒波で樹勢が低下している園は1袋多めの施用で樹勢回復を図りましょう。

(10a当り)

品種系統	施用時期	柑橘1号	柑橘5号	ソイルキーパー
中生、普通 完熟早生	5月下旬～ 6月上旬	6袋	8袋	9袋
高糖系 (青島、大津4号他)	5月下旬～ 6月上旬	8袋	10袋	12袋
中晩柑 (せとみ、伊予柑他)	5月下旬～ 6月上旬	6袋	8袋	9袋

作業3 苗木の管理

追肥の施用

	施用時期	肥料銘柄	施用量
1年生	5月上旬	柑橘有機配合1号	60～70g/1樹当たり
2年生			70～90g/1樹当たり

- 支柱立てをしていない園は早急に実施しましょう。
- 弱い芽を間引き、方向のよい強い芽を残す。1樹につき5～6本に整理する。
- 1ヶ所から出ている芽を1本に芽かきする。
- 春芽が8～10枚伸びた時点で新梢6～8枚残して摘心する。

落葉果樹

梅の管理

- 黒星病 灰色かび病防除…時期…5月上旬
防除薬剤…ストロビードライフフロアブル2000倍
- アブラムシ…時期…5月中旬 防除薬剤…ダントツ水溶剤 4000倍
- 摘果…5～10cmに1果程度残して摘果しましょう

キウイフルーツの管理

●花ぐされ病対策

薬剤防除 時期…5月上旬
防除薬剤…アグレプト水和剤 1,000倍 + ネオエステリン(展着剤) 5,000倍
環状剥皮 時期…5月上旬
5mm幅で地際から60～150cmの主幹部に施しましょう

●人工受粉

花粉の重量に対して石松子で4～10倍にして授粉しましょう

●摘蕾 … 側花や奇形花、余分な蕾を除去しましょう

●新梢の芽かきと誘引

余分な芽や遅れ花を除去し、1㎡に新梢を12～15本としましょう
又、日が良く当たるように誘引をしましょう

●摘果 … 傷果や奇形果を摘果し、1㎡当たり30果程度としましょう

●軟腐病防除

1回目(結実後)… トップジンM水和剤 1,000倍 + ネオエステリン(展着剤) 5,000倍
2回目(6月下旬)… アリエッティ水和剤 600倍 + ネオエステリン(展着剤) 5,000倍

●クワシロカイガラムシ防除

5月中旬… モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 + ネオエステリン(展着剤) 5,000倍

水稻

※一発肥を施肥する場合は、元肥は必要ありません

品種	基肥一発10a当たり	箱防除	田植期
コシヒカリ	ユーコート002 35～40kg/10a	稲大将箱粒剤 50g/箱 スクラム箱粒剤 50g/箱	5月上旬～ 5月中旬
ひとめぼれ	ユーコート002 35～40kg/10a	フルスロトル箱粒剤 50g/箱	5月下旬

- 植えつけ本数が多いと軟弱に生育し、病害虫の発生が多くなります。植えつけ本数は3～4本にしましょう。